日本共産党 市政ニュ

2019年3月1日 No.403

名古屋市中区三の丸三丁目1-1 電話052 (972) 2071 FAX052 (972) 4190 発行・日本共産党名古屋市会議員団

代表質問 田口一登議員(2019年3月1日)

リニアや天守閣木造化より福祉・暮らし優先に 高すぎる国保料の引き下げや小学校給食費の無償化を



田口議員は3月1日の代表質問で、消費税増税、国民 健康保険料、小学校給食費、子どもの医療費無料化、 リニア基金、学校統廃合、被災者住宅再建支援制度、 弥富相生山線、名古屋城天守閣についてただしました。

消費税10%増税を転嫁するな

増税は反対。できる限りの努力はした(市長)

日本共産党の市政アンケートでも市民の生活実感は 「暮らしが悪化」が明らかです。こんなとき、消費税1 0%増税が強行されたら暮らしも経済も壊されてしまい ます。田口議員は市長に「増税中止を国に求めよ。水 道料金や市バス・地下鉄料金への転嫁・値上げをやめ よ」と迫りました。

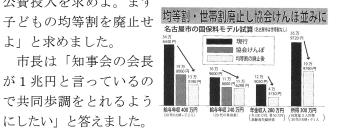
市長は「消費税増税はやめてちょ、とここで国にいっ ておく。もともと増税がとんでもないこと。できる限 り負担がいかないようにした」と答えました。

1 兆円投入で国保料の引き下げを 知事会と歩調を合わせたい(市長)

国保料の滞納世帯は、加入世帯の13%、4万1千世 帯を超えています。国保料が高すぎて払えないのです。 全国知事会が公費の投入で協会けんぽ並みにすること を求めましたが、国保の均等割をなくせば抜本的に引 き下げることができます。田口議員は「国に1兆円の

公費投入を求めよ。まず よ」と求めました。

市長は「知事会の会長 が1兆円と言っているの で共同歩調をとれるよう にしたい」と答えました。



子育て世帯の負担軽減を

財源はある。実施に向けた工夫をすべき

田口議員は、子育て世帯の経済的な負担軽減として、 小学校給食費の無償化と子ども医療費無料化の18歳ま での拡大を提案しました。

市は「給食費無償化は41億円も必要なのできわめて 困難。保護者負担のあり方は引き続き検討する」「18 歳までの通院無料には10数億円が必要。慎重に検討す べき課題」と答えました。

田口議員は「予算を見直せば財源はある。給食費の

無料化も第3子以降だけなら3億円で可能。部分的・ 段階的な実施も含め、どうしたら実現できるのかとい う検討をすすめよ」と求めました。

小学校跡地の売却でリニア基金100億円 教育より開発を優先していいのか

2019年度末の特定目的基金及び財政調整基金の残高 は464億円、10年で169億円も増える見込みです。財政 調整基金も目安の100億円を超え、新たな名目の基金が 相次いで創設されています。そのうち、「リニア関連 名古屋駅周辺地区まちづくり基金」が新明小学校跡地 の西側半分の売却収入の100億円で新設されます。田口 議員は「リニア建設の代替地を用意するのはJR東海 の仕事であり、名古屋市が、民間企業の事業のために 市有地を差し出さなければならないいわれはない」と 指摘し「学校跡地の売却収入は、子どもたちの健やか な成長のために使われるべきものではないか」と質問 しました。市長は「リニアは成功させなければいけな い。商売がうまくいかないと福祉もできない」と答え



天守閣…復元の見通しがないのに壊すのか

市長は2022年末の名古屋城天守閣の復元に間に合わ せたいがために、文化財的な価値が高い現天守閣を先 行解体しようとしています。市の計画と石垣部会の立 場に根本的な相違があり、石垣の保存方針も決まって いません。そのため文化庁に復元の申請ができません。 田口議員は、「復元の見通しも立たないのに天守閣を 先に壊すのか」と追求。市長は「丁寧にやるが、遅ら せることはない」と答えました。田口議員は「誰がみ ても急ぎ過ぎ。天守閣の解体は中止し、木造復元は市 民の意見を聞いて再検討を。天守閣の耐震性を云々す るのなら、耐震改修すべき」と指摘しました。